

山本大臣閣議後会見

平成25年5月31日

STS forum

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム
Science and Technology in Society forum

日本をハブにグローバル
ネットワークを形成

ダボス会議の科学技術版

2002年、当時の尾身幸次科学
技術政策担当大臣が発案。

2004年から毎年、京都で開催。
今年（2013年）は10回目

毎回、「科学技術の光と影」を
テーマとして、科学技術と社会に
関する問題を議論。



2013
The 10th ANNIVERSARY ANNUAL MEETING
October 6-8, 2013
Science and Technology in Society (STS) forum
Kyoto, Japan

STS *forum* 9th Annual Meeting
~ 前回(第9回)の概要 ~

テーマ「科学技術の光と影」

Lights and Shadows of Science and Technology

2012.10.7 – 9

国立京都国際会館

10月7(日): オープニングセッション、全体会議及び分科会

10月8日(月): 全体会議及び分科会

10月9日(火): 全体会議、閉会式

96の国・地域・国際機関からおよそ1,000名の科学技術、政治、ビジネス、メディア各界の世界的リーダーが参加。

STS *forum* 10th Annual Meeting

2013.10.6 – 8

国立京都国際会館

STS forum

～ これまでの主な参加者 ～

注：肩書きは参加当時

(参加者数)

	国・地域	参加者数
第1回	50	500人
	⋮	
第9回	96	1,000人

【政治分野・政策立案者】

小泉純一郎 (首相)
安倍 晋三 (官房長官 (首相代理))
ジョン・マーバーガー (米国：大統領科学顧問)
ジョン・ベディトン (英国：首席科学顧問)
アネッテ・シャバン (ドイツ：教育・研究大臣)

【ビジネス分野】

奥田 碩 (日本経団連会長)
御手洗富士夫 (日本経団連会長)
チャールズ・ホリデー (バンクオブアメリカ会長)
ジェフ・キンドラー (ファイザー会長兼CEO)
ユーン ウー・リー (サムスン電子副会長兼CEO)

【ノーベル賞受賞者】

野依良治 (化学賞)
利根川 進 (医学・生理学賞)
江崎玲於奈 (物理学賞)
小林 誠 (物理学賞)
山中伸弥 (医学・生理学賞)
トーステン・ヴィーゼル (米国：医学・生理学賞)
スティーブン・チュウ (米国：物理学賞)
リヒャルト・エルンスト (スイス：化学賞)

【学術分野】

アーデン・ベメント (NSF (全米科学財団) 長官)
ラルフ・シセローン (NAS (全米科学アカデミー) 会長)
ギルバート・オメン (AAAS (アメリカ科学振興会会長))
エリアス・ザフーニ (NIH (国立衛生研究所) 長官)
路 甬祥 (中国：中国科学院長)
スー・ナム ビョウ (韓国：韓国科学技術院長)

【メディア】

エリック・ブーリー (フォーチュン編集長)
フィリップ・キャンベル (ネーチャー共同編集者)
パラブ・ゴーシュ (世界科学ジャーナリスト連盟会長)

国際科学技術関係大臣会合

Science and Technology Ministers' Roundtable Meeting

STS *forum* 合わせて開催 (2004年から毎年実施)
日本の科学技術政策担当大臣が単独で議長

(前回) 第9回会合 (2012.10.7) は、グリーン成長に関する意見交換。

(次回) 第10回会合は2013年10月6日、国立京都国際会館で開催。



9th Science and Technology Ministers' Roundtable Meeting